

## 4月30日「創立者の日」について

### 「創立者の日」(楷之忌) について

創立者 加計 勉名誉理事長が、平成20年4月30日に亡くなられてから、早いもので13年が過ぎました。

学園では4月30日を創立者の日としていますが、このご命日を「楷之忌」として学生生徒をはじめとし教職員の皆様にも、創立者の理想とした教育に想いを馳せ、自身の成長を誓う日として頂きたいと存じます。

学生生徒、教職員の皆様におかれましてはご命日「楷之忌」に、墓参してくださいませようご案内申し上げます。

創立者の墓所は、いつまでも皆様を暖かく見守ってくださいますように、理大町敷地内のクラブハウス半田山の隣にありますので、お時間のあるときに一度足を運んでみてください。

県外のキャンパスからは遠いですが、機会がありましたら是非お立ち寄りください。



### 「楷之忌」について

楷の木は、江戸時代に岡山藩の庶民のための学校として開かれた閑谷学校の中庭で、毎年美しい紅葉を見せている木で、「学問の木」と呼ばれています。

創立者の夫人は夫の教育にかける情熱に想いを馳せ、かつて喜寿の記念に

「半世紀 たちにけらしも 夫の道  
守りたまひし えにしある人」

と詠まれています。

学園ロータリーの銅像の隣にあるこの楷の木は夫人が選ばれ教職員有志で植樹したものです。夫人をはじめ多くの方々の想いの込めた楷の木に因んで、ご命日を「楷之忌」とさせていただきます。

### 創立者の墓所 地図



### 創立者について 少しご紹介しましょう



創立者

【加計 勉名誉理事長】

加計 勉は、大正12年3月に広島県で生まれ戦争を体験しました。皆様ご存知のとおり広島には原爆が投下され、見渡す限り焼け野原となり、その惨状を目の当たりにした加計は戦後の荒廃した日本の復興には教育しかないと、教育に生涯をかける決意をしました。そして昭和30年に広島で教育事業を始め、昭和36年に38歳で岡山に加計学園を設立し、中学校、高校、大学、専門学校と7設置校を擁する学校法人の礎を築きました。

創立者は「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し 技術者として社会人として 社会に貢献できる人材を養成する」という建学の理念を掲げ、理想とする教育の実現に私学人としての誇りを胸にその生涯を学園の発展にささげられました。ちょうど13年前の平成20年4月30日に享年85歳で逝去されました。